



輝け！北っ子！

第11回二本松市一周駅伝競走大会 ～「+α」の先にあるもの～

27日、秋晴れの下、第11回二本松市一周駅伝競走大会が開催されました。学校からは5年生・6年生の2チームが参加しました。エントリーした選手は以下の通りでした。

5年—中村透真 角田碧生 大友絢太 四条あかり 渡部統志郎 安齋輝琉 阿部眞宗
武藤柊 安齋翔 若島克真 二階堂悠

6年—齋藤凜恋 赤塚康介 三浦快斗 吉田修真 古川慎悠 齋藤純輝 田中悠莉 紺野舞姫
加藤麻央 窪田菜奈 福馬広夢



子どもたちは、本当によく頑張りました。大きな声援を受けながら、精一杯走っていました。また、自分ことだけでなく走り終わった子が選手を本気で応援したり、ゴールした子をハイタッチでむかえたり、肩をたたきねぎらったり。とてもすがすがしいものでした。

大会当日は、都合で出れなくなったり、走り終わった後、すぐに別な用事に帰る子もいましたが、なにより、大会を含めたこれまでの「過程」がとって大事であると思っています。

結果はいいにこしたことはありませんが、相手があることですから特にこだわるつもりはありません。

子どもたちは大会への参加を自分の意志で決め、男女混合、自分たちで練習を行ったり、チーム名を決めたりするなどまさに「+α」の活動がありました。+αの行動の先には、行動したものでしか見ることができない景色や経験、感動があります。+αの行動によって得られたものは何のものにも代えがたいものであると思っています。本当によく頑張りました。送迎・応援にきていただいた保護者の皆様もありがとうございました。

ちなみに6年生チーム（NorthOneHeart）が第3位、5年生チーム（RCきたっ子）が第8位でした。素晴らしい結果も出しました。



5年生ありがとう

～修学旅行の6年生に代わって～

6年生は学校のリーダーとして朝から帰るまで様々な活動を担ってくれています。17日～18日に6年生は修学旅行でしたが、6年生がいない間は、5年生が頑張ってくれていました。

朝のボランティア清掃、国旗・校旗掲揚をはじめ、登校班、委員会活動等6年生の代わりにしっかりと行ってくれました。活動しないと分からない大変さ、リーダーの責任の重さ・・・5年生は活動を通して学んだことと思います。

3学期には本格的な引継が始まります。「立場が人をつくる」という言葉もありますが、今回の経験はその前段階としていい経験になったように思いました。5年生ありがとう。次のリーダーとして活躍を期待しています。

